

FD・SD 共通 8月25日(木)10:00～12:00/M33教室

## 事例から学ぶ危機管理

～東日本大震災の被災から授業開始まで～

### ■講師



阿部 光伸  
(学校法人東北文化学園大学 学園事務局 部長)

東北大学大学院教育学研究科(前期課程)修了。専門学校での15年の教員生活を経て、平成15年から東北文化学園大学に勤務。学生課長、教務部長を経て現職。学生課長時代に修学支援制度「Student JOB」を上げたほか、今回の東日本大震災では、対策本部メンバーとして被災直後の学生支援、各種奨学制度の構築に関わる。



上甲 功治  
(愛媛大学総務部総務課総務チームリーダー)

愛媛県立宇和島東高等学校卒業後、国立弓削商船高等専門学校採用、学生課、会計課で勤務、愛媛大学転任後は、主に人事系に勤務、平成20年から本部総務課において式典関係を主に、その他総務、危機管理業務を担当している。



石川 尚  
(愛媛大学総務部総務課総務チームサブリーダー)

高知工業高専職員、(独)国立高等専門学校機構を経て、愛媛大学転任後は、教育学生支援部教育企画課教育企画チームを経て本年度から現職。

### ■プログラム概要

2011年3月11日(金)に発生した東日本大震災は、マグニチュード9.0、最大震度7を記録する観測史上最大級であり、甚大な被害をもたらしました。東北地方の各大学では、被災した学生・教職員・地域が一丸となり、授業を再開するなど復興に向けて努力を行っています。

本プログラムでは、仙台市にある東北文化学園大学が今回の震災に際して取った危機管理とその対応を学びます。そして、そこに当たって必要となる事業継続計画(BCP)作成のためのミニワークショップを行います。このプログラムが、危機管理の重要性を改めて考え、各大学が実践している危機管理方法を見直すきっかけになることを期待しています。

### ■本プログラムの到達目標

1. 被災から授業開始までに大学等が優先的に取り組むべき業務を2つ以上説明できる。
2. 事業継続計画(BCP)作成の重要性を2つ以上説明できる。
3. 危機管理について、自大学で今後取り組まなければならない課題を提案できる。